

③

② - 2

リニア中央新幹線
建設発生土活用に関するWG 各位

お世話様です。

先日の第3回発生土WGで説明した、発生土活用先の第2回照会を行いますので、お忙しいところ恐れ入りますが、添付ファイルにより回答をお願いいたします。

また昨日22日(火)に、飯田市において飯伊地区の発生土WGを開催しました。その中でJR東海から環境影響評価準備書における発生土に関して説明がありましたので、その概要とリニア室で作成した関係資料をあわせてお送りします(誠に申し訳ありませんが、上伊那地区と木曾地区は資料の送付をもってWGの開催に代えさせていただきます)。

ご不明な点は山崎までお問い合わせください。お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

長野県企画部交通政策課

リニア推進振興室 担当係長 山崎 隆雄

TEL:026 (235) 7016、FAX:026 (235) 7396

E-mail:linear-shin@pref.nagano.lg.jp(所属)

yamazaki-takao-r@pref.nagano.lg.jp(個人)

http://www.pref.nagano.lg.jp/

室長

課長補佐

係員

担当者



本案のとおり施行してよいでしょうか

25交り 号 外
平成25年(2013年)10月22日

リニア中央新幹線建設発生土活用
ワーキンググループメンバー 様

長野県企画部リニア推進振興室長

リニア中央新幹線に係る建設発生土の活用先について (照会)

このことについて、今後のワーキンググループにおける意見交換等の参考とするため、第2回の照会を行います。
つきましてはご多用中恐れ入りますが、下記により回答をお願いします。

記

- 1 照会内容 ①今後の公共事業での活用予定について
②埋立地の見込みについて
- 2 回答方法 別添様式に必要事項を記入のうえ、メールで回答してください。
- 3 回答期限 前期：平成25年11月 8日(金)
※活用先の予定がある箇所について、回答してください。
後期：平成25年11月29日(金)
※前期までに調整が整わない場合の、回答期限です。
- 4 提出先 長野県企画部リニア推進振興室 担当係長 山崎 隆雄
問合せ先 (細かい内容でも構いませんので、不明な点はお問い合わせください)
- 5 留意事項
(1)この照会は、発生土の活用先について、JR東海との調整を行う候補地を見出すことを目的としています。そのため、公共事業であれば事業の目途が立っている箇所、埋立地であれば地元の概ねの合意が得られている箇所(地元から要望のある箇所等)について回答してください。
(2)回答結果については、WG内での公開を前提とします。また、回答のあった市町村数と活用予定土量の総数については、対外的な公開を前提とします。
(3)今回の回答結果はJR東海と調整するための基礎データとなりますが、回答したことによって、発生土の受け入れが義務となることはありません。
(4)発生土活用先の照会は、今後も定期的に行います。

長野県企画部交通政策課リニア推進振興室 吉沢 久(室長)、山崎 隆雄(担当) Tel 026-235-7016(直) Fax 026-235-7396 E-mail linear-shin@pref.nagano.lg.jp

1 今後の公共事業での活用予定について

市町村(機関)名: _____

建設発生土の活用が見込まれる公共事業について、記入してください。

①事業名(用途)	②箇所名(大字など)	③事業年度	想定土量(m ³) ^{※2}	公開可能部分 ^{※3}	備 考
(記入例) 道路改良	〇〇町△△	H30~H35	50,000	①、②	道路の路体材
合 計			0	m ³	

【記入上の注意】

※1: 各市町村(機関)が事業主体となる事業について記入してください。

※2: 想定土量… 想定が難しい場合でも、極力ご記入ください(万m³単位で構いません)。また地山土量(変化率を考慮しない土量)で記入してください。

※3: 公開可能部分… 各項目のうち、WG内で公開が可能な項目を記入してください。ただし、市町村名(機関名)と土量(網掛け部分)については公開が前提です。また、回答していただいた市町村数と活用予定土量の総数は、対外的な公開を前提とします。

☆この調査結果に基づいて、建設発生土の受け入れが義務となることはありません。

2 埋立地の見込みについて

市町村(機関)名: _____

沢や窪地の埋立てが見込まれる場所がありましたら、記入してください。

①箇所名(大字など)	②現 状	③公有地or 民有地	④仮置場利用 の可否 ^{※1}	想定土量(m ³) ^{※2}	公開可能部分 ^{※3}	備 考
(記入例) ○○町△△	窪地	民有地	可(H35まで)	50,000	①、②、④	地元区からの要望
合 計				0	m ³	

【記入上の注意】

- ※1: 仮置場利用の可否 … 仮置場としての利用が可能な場合は、「可」と記入してください。
- ※2: 想 定 土 量 … 想定が難しい場合でも、極力ご記入ください(万m³単位で構いません)。また地山土量(変化率を考慮しない土量)で記入してください。
- ※3: 公 開 可 能 部 分 … 各項目のうち、WG内で公開が可能な項目を記入してください。ただし、市町村名(機関名)と土量(網掛け部分)については公開が前提です。また、回答していただいた市町村数と活用予定土量の総数は、対外的な公開を前提とします。

☆この調査結果に基づいて、建設発生土の受け入れが義務となることはありません。

発生土活用に関する報道

H25.10.22現在:リニア推進振興室

掲載日	新聞社名	市町村名	報道の概要
H25.7.18	信濃毎日新聞	松川町	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会全員協議会で、リニア中央新幹線の残土を同町元大島での町道整備に利用する考えを説明 ・活用を見込むのは町道延伸計画がある元大島の約300m区間。約10万m³の残土が必要になる ・残土の一時保管場の設置も検討している
H25.8.9	南信州新聞 信濃毎日新聞	喬木村	<ul style="list-style-type: none"> ・飯橋道路3工区の建設に伴い発生する大量の残土(60万m³)について、利活用の検討を始めた。区などを通じて受け皿となる候補地を募る。 ・リニア中央新幹線のトンネル掘削に伴い膨大な残土が出る試算もあり、こちらの処理方法も含めて検討していく。
H25.8.21 H25.8.22	信濃毎日新聞 南信州新聞	飯田市	<ul style="list-style-type: none"> ・(市長定例記者会見)「できれば近いところで優先的に処理するのが理にかなっている。」「どういったところに使えるのか、リストアップや検討を加えないといけない。」
H25.8.28	信濃毎日新聞	下條村	<ul style="list-style-type: none"> ・村内で受け入れる方向で検討している。残土の受入れ予定地は睦沢地区の道の駅「信濃路下條」北側の私有地。 ・今後地権者と交渉する考えで、具体的な活用策はこれから詰めていく。
		阿智村	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の幹線道路沿いに建設する構想を温めている大型直売施設に残土を活用できないか模索する方針。 ・場所や建設時期などは未定。今後具体的な検討を進める。
H25.9.3	信濃毎日新聞 中日新聞 南信州新聞	高森町	<ul style="list-style-type: none"> ・町全員協議会で有益に活用できる情報や提案を区などから募る方針を説明 ・受け入れについて今後、区を通じて情報を募った上で活用策を具体化させたいといい、2日に開かれた区長会に依頼した。町商工会や町建設業協会からも募る。
H25.9.10	信濃毎日新聞 中日新聞	阿南町	<ul style="list-style-type: none"> ・(9月定例会町長答弁)「現段階で(町内では)候補地としては適地はないと考えている」
H25.9.12	信濃毎日新聞 中日新聞	中川村	<ul style="list-style-type: none"> ・(9月定例会村長答弁)「県による市町村側への予備的な聞き取り調査に『受け入れる可能性のある場所は数ヶ所ある』と回答した」
H25.9.18	中日新聞	下條村	<ul style="list-style-type: none"> ・(9月定例会村長答弁)「国道151号沿いのくぼ地埋立てに受け入れたい」「150万～200万m³が必要になる。JR東海にすべてを任せる」「県内あるいは岐阜県境付近で発生する斜坑残土の運搬については、現道利用で十分に対応できる」
	信濃毎日新聞	喬木村	<ul style="list-style-type: none"> ・(9月定例会村長答弁)「(村内)第2の候補地の検討もしていきたい。」「具体的な場所は今後詰めていく」 ・区長会を通じて候補地を募集したところ、17日までに村内8箇所の情報が村に寄せられた ・今後現地調査や地権者との交渉を進める方針 ・すべてを利用した場合三遠南信道の残土60万m³の受入れが可能になる見込み。引き続き候補地を募る
H25.9.25	南信州新聞	阿智村	<ul style="list-style-type: none"> ・(9月定例会村長答弁)「設置の要望がある直売所の建設で、土地の埋立てに使用すると考えている」
H25.10.5	信濃毎日新聞	豊丘村	<ul style="list-style-type: none"> ・村内3箇所を候補地として検討。3箇所の容量は計200万m³を超える見込み ・3箇所とも神稲地区で、うち2箇所は100万m³の受入れが可能な規模。地元調整などはこれからで、村が協議を進める方
		下條村	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れを検討しており、その容量は150万～200万m³に上るとい ・予定地は睦沢地区の道の駅北側の私有地
H25.10.18	信濃毎日新聞 南信州新聞	高森町	<ul style="list-style-type: none"> ・町が募集した掘削残土の活用策について、3件の応募が寄せられた

第4回建設発生土活用に関するワーキンググループ(飯伊地区)

JR 東海の説明内容

企画部リニア推進振興室

1 環境影響評価準備書における発生土について

- ・準備書説明会における主な質疑応答は以下のとおり
- Q)発生土の活用先は決まっているか(全会場で質問あり)
- A)リニア事業での利用を最優先とし、使えない分は他の公共事業での活用を想定。活用先については県を窓口が発生土WGで調整している
- Q)発生土の搬出先は、搬出場所から近いところにして欲しい
- A)発生場所の近傍が、優先順位としては高い
- Q)発生土の搬出はいつからか
- A)H26年度中に工事実施計画認可をめざしている。具体的なスケジュールは工事着手前に工事説明会等で説明する。
- Q)発生土の搬出には、どの道路を利用するのか
- A)既存道路の利用を原則とし、新たに道路を設ける必要があれば道路管理者と協議する。
- Q)狭い道路の対応はどうするのか
- A)大型車の通行を想定していない道路では、拡幅や待避所の設置、カーブミラー等の安全施設設置を考えている。道路管理者や地元自治体と協議して対応したい。
- Q)運搬の時間帯は
- A)昼間のみの運搬を考えている。なお、工事は24時間体制で実施する
- Q)搬出にあたっての安全対策は
- A)工事現場の出入り口や主要な交差点には誘導員を配置する。通学時間帯に配慮するほか、運転手への安全教育も実施する。また、車両にはリニアの工事用車両であることが分かるようステッカーを添付し、住民の方からの問い合わせ窓口を施工業者と協議して設ける。
- ・準備書における土量の950万m³は運搬土量であり、埋立て土量に換算すると2~3割減の見込み

2 質疑応答から

(道路改良のスケジュール)

- ・大鹿村のA~D斜坑に関する道路や、(主)松川インター大鹿線については早急に関係者と協議を始めたい。その他の道路についても、斜坑の位置が決まり次第すぐにでも役場に打合せに伺いたい。

(WGでの検討が必要な土量)

- ・切土による発生土は現場での埋め戻しに利用して極力減らしたい。建設汚泥は濁水の沈殿処理後の土を想定しており、産廃処理を中心に予定している。
- ・リニアの工事で再利用が見込まれる土量は変電所や保守基地程度であり、せいぜい数万 m³

※WGの目標は、1,000m³の2割減(地山土量換算)で800万 m³程度となった

(活用先に関する JR 東海の腹案)

- ・今現在、JR 東海として検討している場所はない。WGでどうしても活用先が見つからなければ、事業者としても探す用意があるとの意味である

(斜坑ごとの発生土量)

- ・後日資料を提供する

(発生土活用先を市町村が買い上げる場合や、換地を行う際の JR 東海の関与)

- ・山梨実験線では所有者はそのまま、JR 東海では赤線や青線の付け替えを行っている
- ・具体的にはケースバイケースで対応することとなるが、市町村が土地を買い上げる際の登記費用までは負担できない。測量程度なら実施は可能

(搬出土の土質)

- ・これまでの調査では、有害物質は検出されていない
- ・搬出時にも検査は行い、有害物質が認められれば事業者として適切に処理する

(土量の決定時期)

- ・搬出開始時に全量が決まっている必要はなく、工程上の搬出土量の分が、その都度確保されていればよいと考えている。

(工事工程表の1年目)

- ・工区単位での1年目であり、同じ年度に着手するとは限らない

環境影響評価準備書に見る発生土量

リニア推進振興室

	建設発生土(万m3)			建設汚泥(万m3)			合計 (万m3)
	切土工等	トンネル工	計	切土工等	トンネル工	計	
東京都	170.0	430.0	600.0	11.0	140.0	151.0	751.0
神奈川県	480.0	660.0	1,140.0	25.0	200.0	225.0	1,365.0
山梨県	76.0	600.0	676.0	1.9	40.0	41.9	717.9
静岡県	—	360.0	360.0	—	22.0	22.0	382.0
長野県	24.0	950.0	974.0	0.4	80.0	80.4	1,054.4
大鹿村	4.5	298.0	302.5	—	34.0	34.0	336.5
豊丘村	1.2	222.0	223.2	0.0	14.0	14.0	237.2
喬木村	5.5	3.0	8.5	0.1	0.0	0.1	8.6
飯田市	12.8	180.0	192.8	0.3	12.5	12.8	205.6
阿智村	—	71.0	71.0	—	6.9	6.9	77.9
南木曾町	—	176.0	176.0	—	12.6	12.6	188.6
岐阜県	340.0	940.0	1,280.0	0.7	36.0	36.7	1,316.7
愛知県	140.0	510.0	650.0	32.0	90.0	122.0	772.0
合計	1,230.0	4,450.0	5,680.0	70.9	608.0	678.9	6,358.9

リニア中央新幹線 長野県内ルート等概要図

リニア推進振興室



(松川橋梁(飯田市))



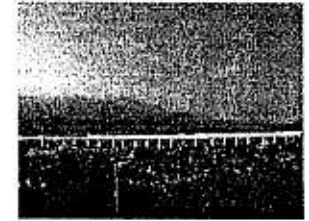
(松岡城址(高森町)からの眺望)



(天竜川橋梁(飯田市～喬木村))

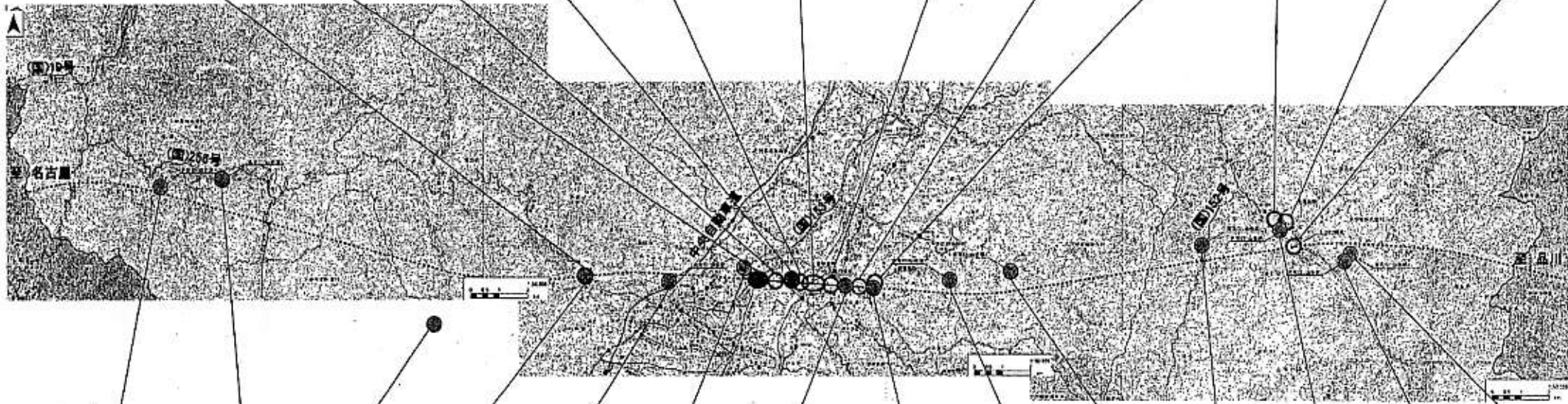


(竜東一貫道路(喬木村))



(アルプスの丘公園(喬木村)からの眺望)

- | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| V松川橋梁
(飯田市) | S長野県駅
(飯田市) | Q高架橋
(飯田市) | R保守基地
(飯田市) | P高架橋
(飯田市) | O天竜川橋梁
(飯田市～喬木村) | N高架橋
(喬木村) | L高架橋
(喬木村) | J変電施設
(豊丘村) | F変電施設
(大鹿村) | C工事用道路
(大鹿村) | E小渋川橋梁
(大鹿村) |
|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|



- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|--------------|------------------|--------------|--------------|------------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| Z斜坑
(南木曾町) | Y斜坑
(南木曾町) | X斜坑
(阿智村) | Wトンネル坑口
(飯田市) | U斜坑
(飯田市) | T斜坑
(飯田市) | Mトンネル坑口
(喬木村) | Kトンネル坑口
(豊丘村) | I斜坑
(豊丘村) | H斜坑
(豊丘村) | G斜坑
(大鹿村) | D斜坑
(大鹿村) | A斜坑
(大鹿村) | B斜坑
(大鹿村) |
|---------------|---------------|--------------|------------------|--------------|--------------|------------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|

凡例

--- 計画路線(トンネル部)	—— 計画路線(地上部) 工事用道路
- - 鉄道	—— 高速道路	- - - 県境
○ 駅	—— 一般国道	- - - 市区町村境
● 交通量調査地点	—— 主要地方道(県道)	
	—— 一般県道	

地点別交通量の内訳

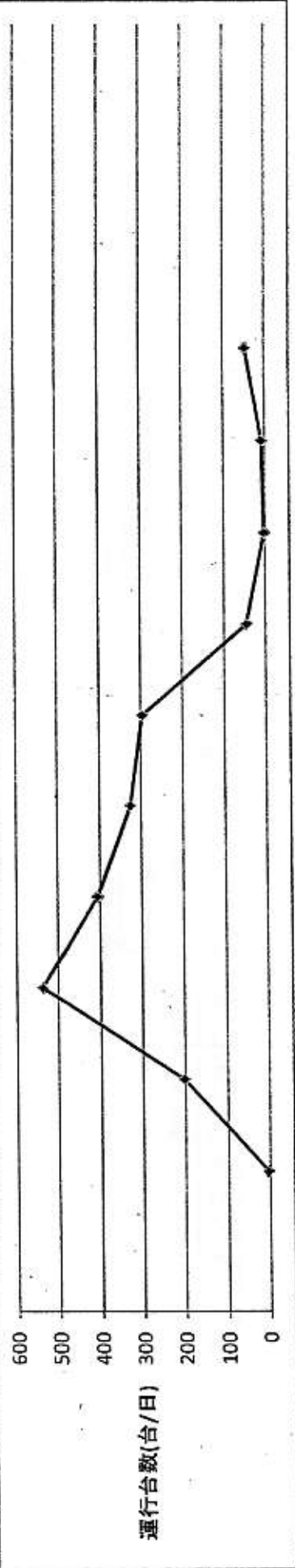
リニア推進振興室

番号	路線名	予測位置	予測対象年	運行台数 (台/日)	交通量 (台/日)	対象工事箇所 ^{注)}
1	県道253号(赤石岳公園線)	大鹿村大河原上市場	工事着手4年後	783	1,566	A+B+C+D+E
2	国道152号	大鹿村大河原下市場	工事着手4年後	868	1,736	A+B+C+D+E+F+G
3	国道152号	大鹿村大河原下青木	工事着手5年後	117	234	G
4	村道 中央線 (伊那南部広域道路)	豊丘村神稲林原	工事着手4年後	322	644	H+I+J
5	村道 竜東一貫道路	喬木村阿島	工事着手1年後	359	718	K+L+M+N+O
6	県道251号(上飯田線)	飯田市座光寺	工事着手3年後	217	434	P+Q+R+S
7	国道153号	飯田市上郷北条	工事着手1年後	376	752	Q+R+S+T
8	南信州フルーツライン	飯田市丸山町	工事着手5年後	346	692	T+U+V+W
9	国道256号	飯田市野池	工事着手5年後	346	692	T+U+V+W
10	国道256号	阿智村下清内路	工事着手4年後	460	920	X+Y+Z
11	国道256号	南木曾町漆畑	工事着手3年後	345	690	Y+Z
12	国道256号	南木曾町尾越	工事着手3年後	229	458	Z
13	国道256号	南木曾町妻籠	工事着手4年後	345	690	Y+Z

注)対象工事箇所は、リニア推進振興室の想定

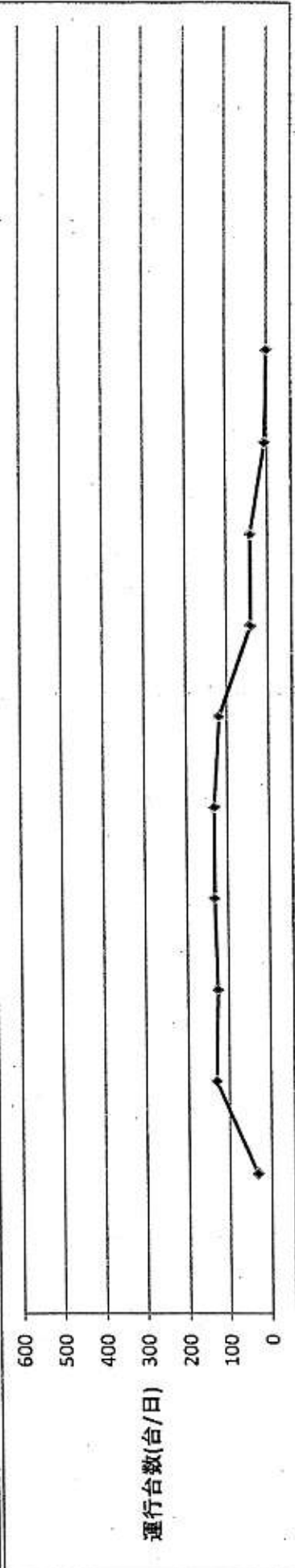
OD斜坑(大鹿村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
掘削・支保工		←						→					
覆工・インバート工			←				→						
スリ処理工			←				→						
路盤工・電気設備			←				→						



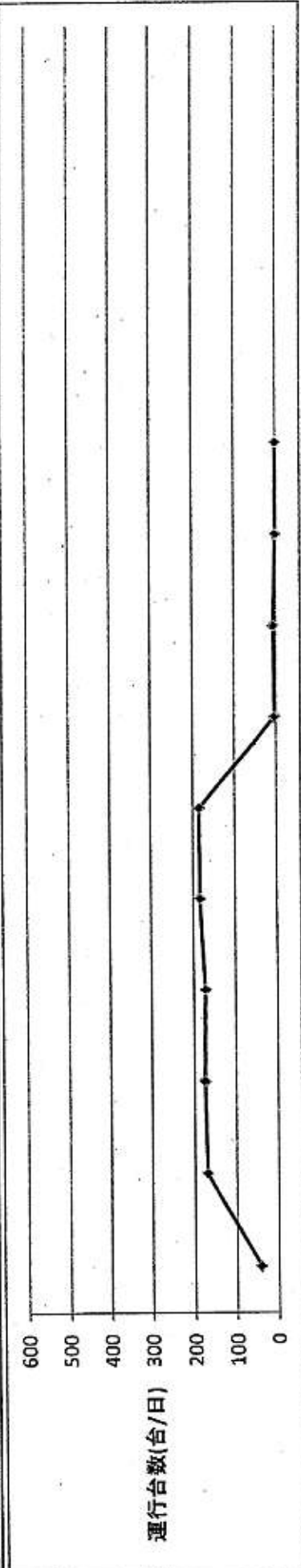
OG斜坑(大鹿村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
掘削・支保工		←					→		↔				
覆工・インバート工			←				→						
スリ処理工			←				→						
路盤工・電気設備			←				→						



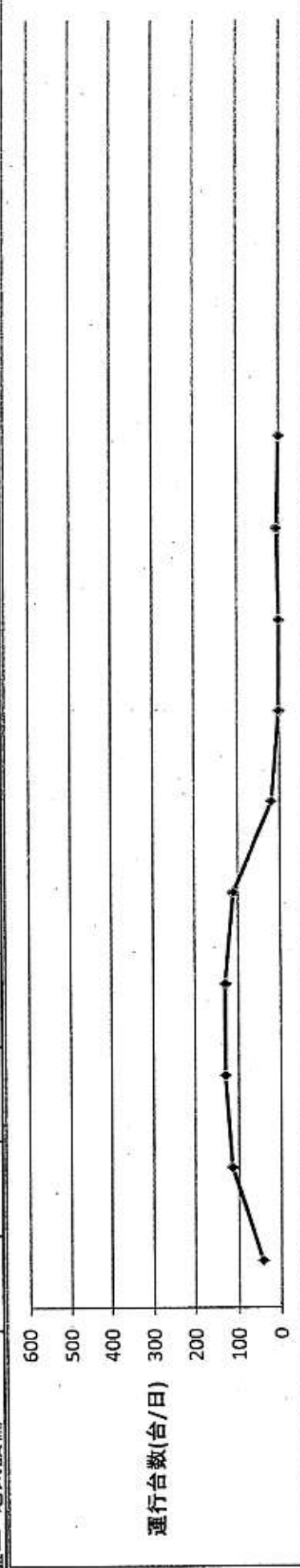
○H斜坑(豊丘村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←						→			
覆工			←			→				
ズリ処理工	→					→				
路盤工・電気設備	→				←					→



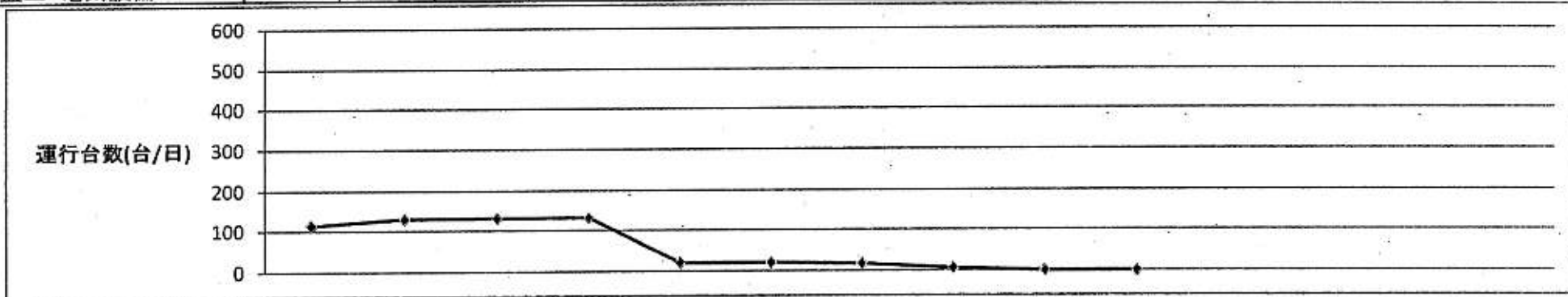
○I斜坑(豊丘村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←				→		→			
覆工・インバート工			←		→					
ズリ処理工	→				→					
路盤工・電気設備	→				←					→



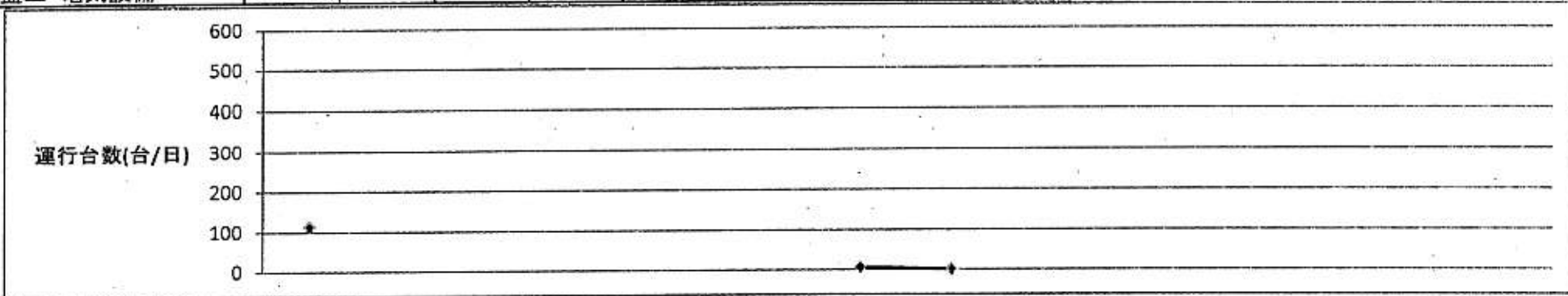
OKトンネル坑口(豊丘村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目				
掘削・支保工	←————→													
覆工		←————→												
ズリ処理工	←————→													
路盤工・電気設備						←————→								



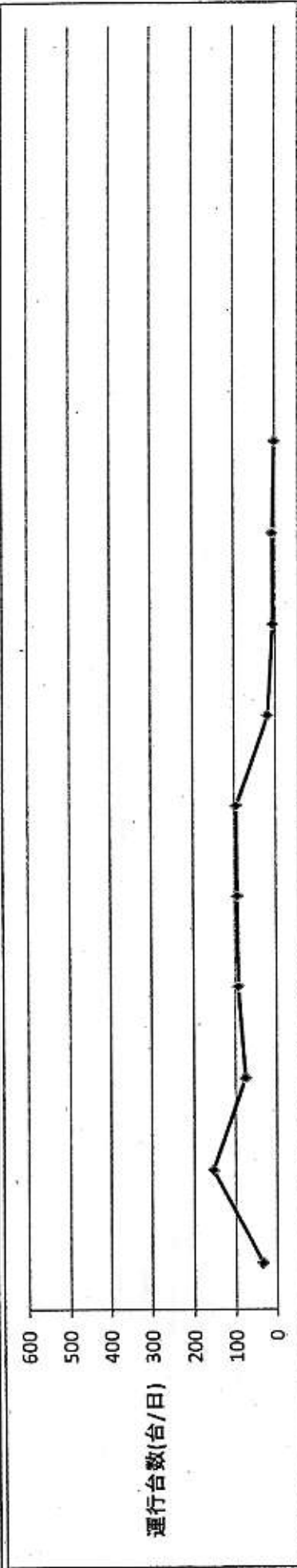
OMトンネル坑口(豊丘村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目						
掘削・支保工	←————→													
覆工・インバート工	←————→													
ズリ処理工	←————→													
路盤工・電気設備	←————→						←————→							



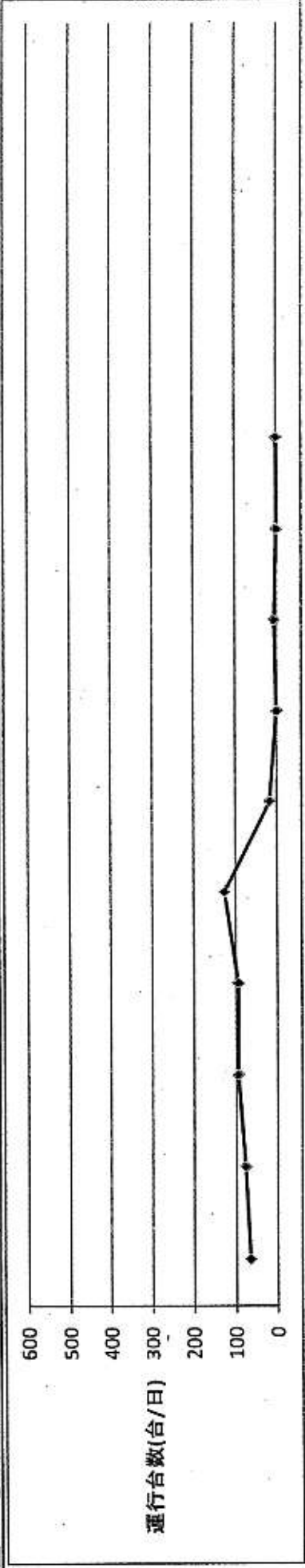
OT斜坑(飯田市)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←						↑			
覆工・インバート工		←				↑				
スリ処理工	↓					↑				
路盤工・電気設備	↓					↓				↑



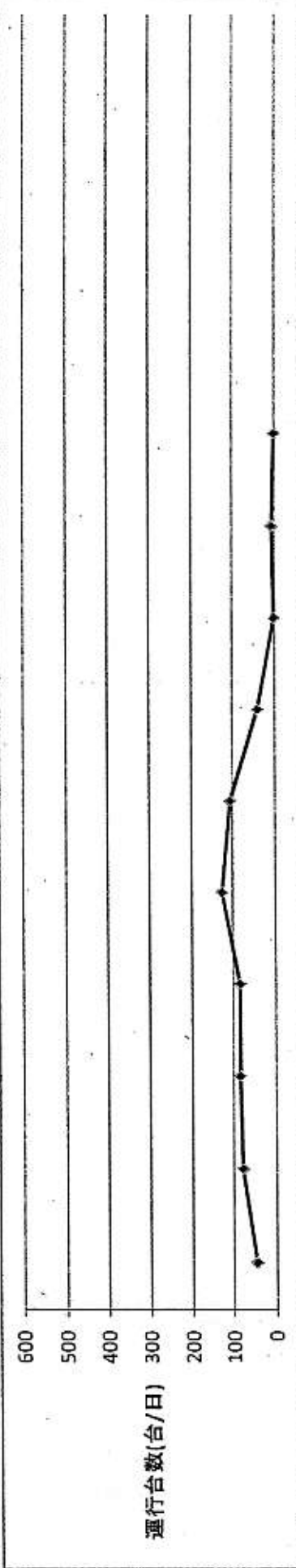
OU斜坑(飯田市)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←						↑			
覆工・インバート工		←				↑				
スリ処理工	↓					↑				
路盤工・電気設備	↓					↓				↑



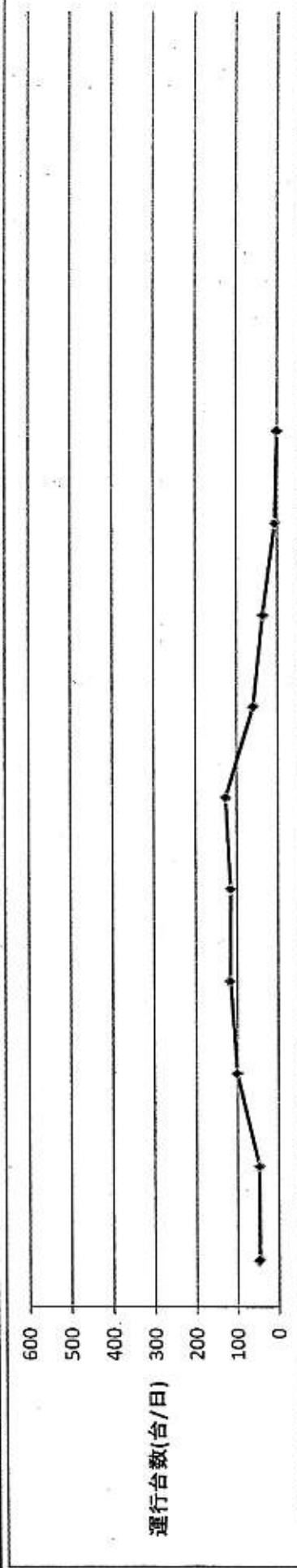
OWトンネル坑口(飯田市)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←					↑		←	↑	
覆工・インバート工	←					↑				
スリ処理工	↓					↑				
路盤工・電気設備						↓				↑



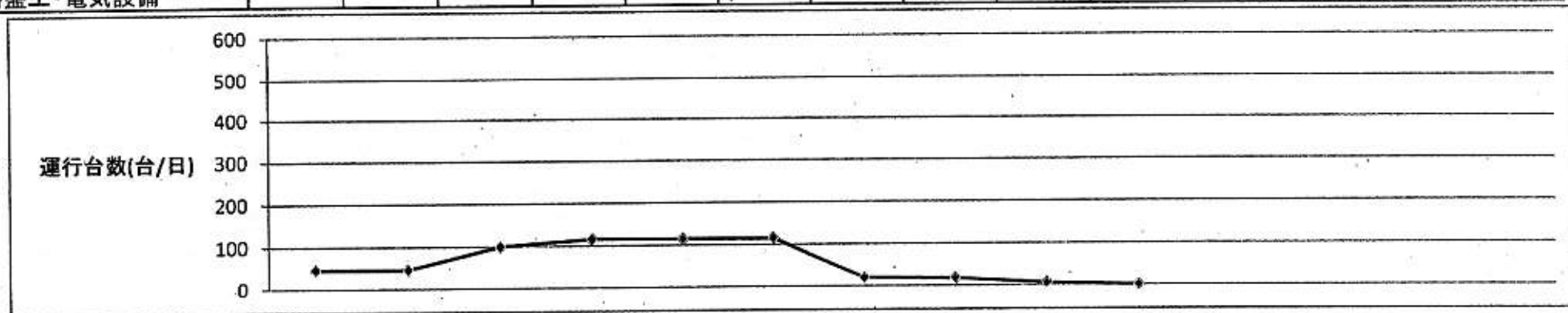
OX斜坑(阿智村)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
掘削・支保工	←					↑		←	↑	
覆工・インバート工	←			←		↑				
スリ処理工	↓					↑				
路盤工・電気設備						↓				↑



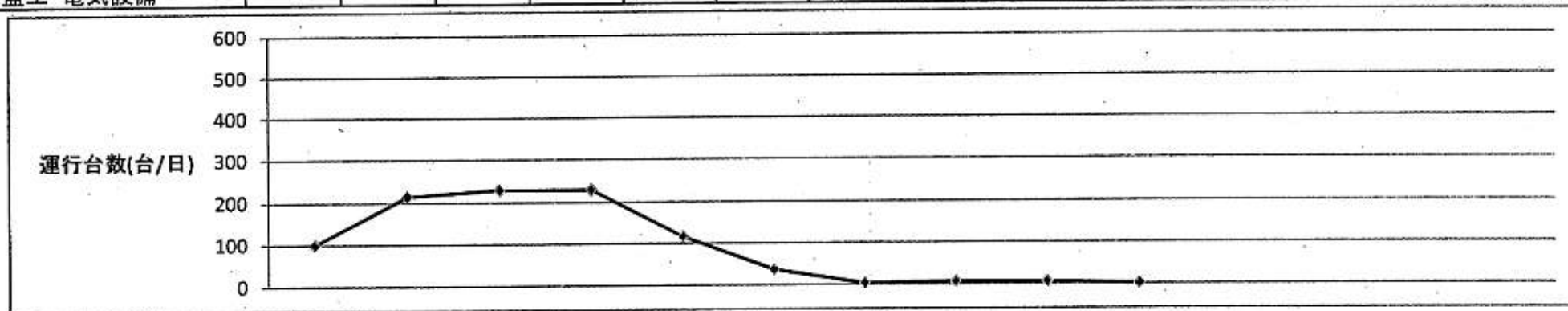
○Y斜坑(南木曾町)

年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
掘削・支保工	←————→							←————→					
覆工・インバート工			←————→				————→						
ズリ処理工	←————→												
路盤工・電気設備						←————→				————→			



○Z斜坑(南木曾町)

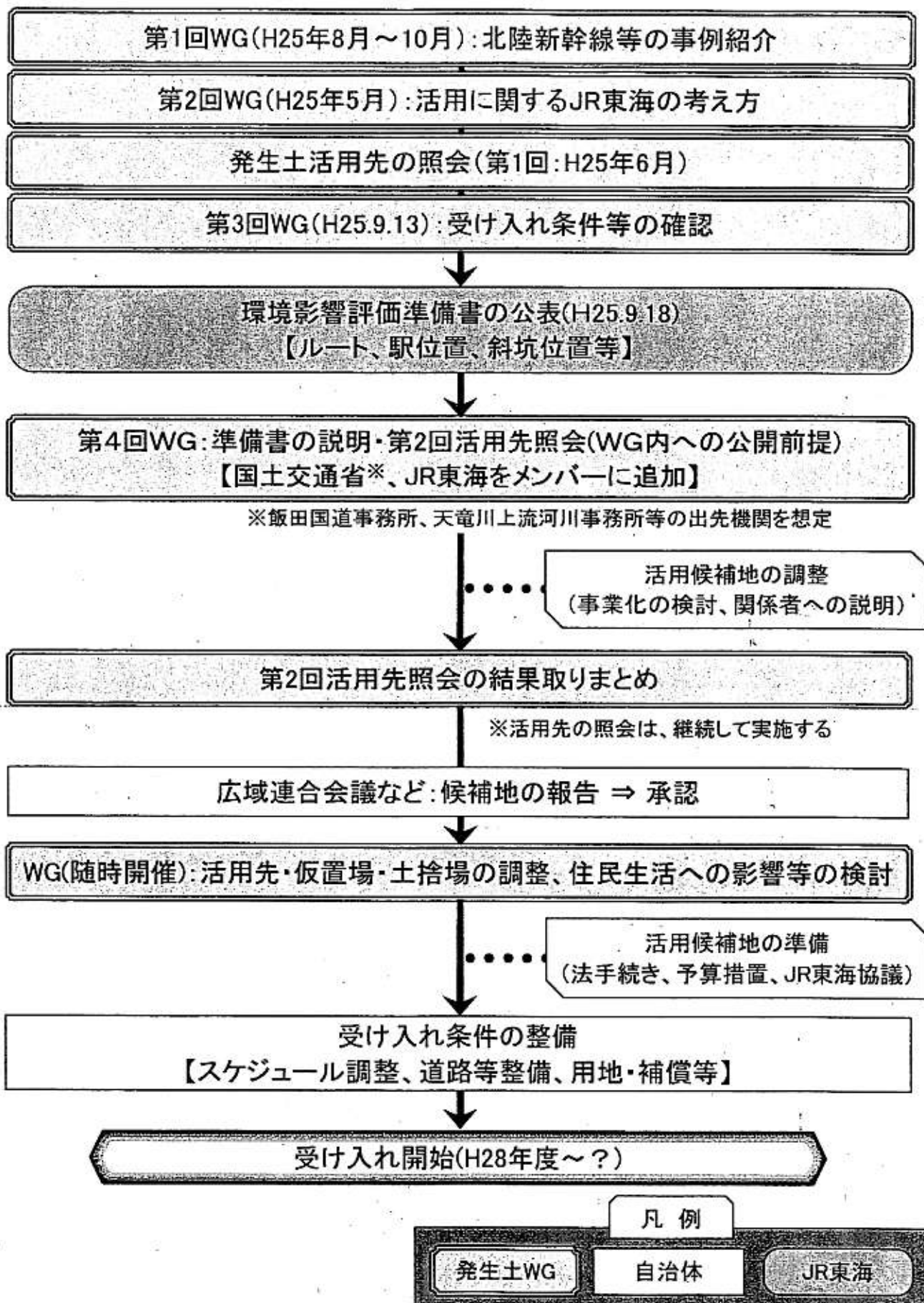
年次	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
掘削・支保工	←————→						←————→						
覆工		←————→				————→							
ズリ処理工	←————→												
路盤工・電気設備					←————→					————→			



※環境影響評価準備書の月あたり最大台数をもとに、1ヶ月=23日として日あたり運行台数を推定している。

中央新幹線 発生土活用に関する概略スケジュール(案)

長野県リニア推進振興室



※本案は、平成25年10月時点での想定であり、状況に応じて柔軟に対応する。